

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL)059(227)2932  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,192	5.1	167	△3.1	168	△5.0	90	△35.4
26年3月期第1四半期	1,134	28.3	172	399.9	177	365.9	140	613.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 92百万円(△33.1%) 26年3月期第1四半期 137百万円(655.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	11.57	—
26年3月期第1四半期	17.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,295	2,479	46.8
26年3月期	5,799	2,505	43.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,479百万円 26年3月期 2,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	6.2	620	2.2	640	3.8	430	1.7	54.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社、除外 一社  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期1Q	8,257,600株	26年3月期	8,257,600株
27年3月期1Q	393,559株	26年3月期	392,959株
27年3月期1Q	7,864,496株	26年3月期1Q	7,864,885株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費増税の影響により消費の一部で弱含みが見られたものの、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。この間、建設業界においては、人手不足による労務費の上昇や資材価格の上昇が大きな懸念材料となっております。

そのような状況の中、当社グループでは、継続的な商品力の強化と販売力の向上に努めてまいりました。また、プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント分野においては、ソフトウェアの販売にとどまらず、顧客へのコンサルティングをソフトウェアと一体で提供できる体制構築を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して5.1%増加し1,192百万円となりました。

経費面では、人員増員に伴う人件費の増加や、提携コンサルタントへの報酬などの増加にともない販売費及び一般管理費が増加しております。この結果、経常利益は前年同期に比して5.0%減少し168百万円となりました。また、四半期純利益につきましては、前年同期にあった税効果利益がなくなったことにより、前年同期に比して35.4%減少し90百万円となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

#### (建設関連事業)

建設関連事業につきましては、消費増税前の駆け込み需要の反動により、特に4月の売上高が前年を下回ったことから当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して1.6%減少し850百万円となりました。

利益面では、主にプロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント分野において顧客へのコンサルティングを行うための体制整備を進めた結果、販売費及び一般管理費が増加しております。この結果、セグメント利益は前年同期に比して30.7%減少し82百万円となりました。

#### (設備関連事業)

設備関連事業につきましては、徹底した顧客サポートを通じて顧客満足度を高めることで、バージョンアップ販売や付加商品の販売による商談単価の向上に努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して26.5%増加し341百万円となりました。

急速な成長にともない人員増強を進めており、人件費などのコストが増加しているものの、セグメント利益は52.3%増加し90百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 財政状態の分析

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて504百万円減少し、4,096百万円となりました。これは主に、現金及び預金が180百万円増加し、受取手形及び売掛金が410百万円、未収入金の減少244百万円を含めその他の流動資産が228百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1百万円増加し、1,199百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる関係会社貸付金が10百万円増加し、のれんが7百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて503百万円減少し、5,295百万円となりました。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて488百万円減少し、1,290百万円となりました。これは主に、未払金の減少222百万円を含めその他の流動負債が217百万円、未払法人税等が155百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、1,526百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が13百万円増加し、長期前受収益が2百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて477百万円減少し、2,816百万円となりました。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて26百万円減少し、2,479百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により90百万円増加し、配当により117百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて3.6ポイント増加し、46.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて140百万円増加し、1,565百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は314百万円（前年同四半期は320百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益168百万円や売上債権の減少額410百万円などの収入、賞与引当金の減少額107百万円や法人税等の支払額181百万円などの支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動により減少した資金は60百万円（前年同四半期は77百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出40百万円（純額）、関係会社貸付けによる支出10百万円などがあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は113百万円（前年同四半期は36百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額113百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成26年5月9日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,989,600	2,170,143
受取手形及び売掛金	998,290	587,430
有価証券	963,865	963,787
商品及び製品	5,397	6,639
原材料及び貯蔵品	8,578	8,283
繰延税金資産	357,142	310,094
その他	279,875	51,677
貸倒引当金	△1,950	△1,950
流動資産合計	4,600,799	4,096,106
固定資産		
有形固定資産	238,085	236,724
無形固定資産		
のれん	352,064	344,186
その他	42,131	40,839
無形固定資産合計	394,195	385,026
投資その他の資産		
投資有価証券	227,830	229,586
その他	346,774	357,051
貸倒引当金	△8,371	△8,665
投資その他の資産合計	566,234	577,973
固定資産合計	1,198,514	1,199,724
資産合計	5,799,314	5,295,831

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	97,581	76,211
未払法人税等	188,342	33,081
前受収益	703,586	716,188
賞与引当金	203,666	96,259
その他	585,776	368,550
流動負債合計	1,778,953	1,290,291
固定負債		
退職給付に係る負債	401,712	415,248
繰延税金負債	1,201	1,847
長期前受収益	1,110,228	1,107,315
その他	1,811	1,848
固定負債合計	1,514,954	1,526,260
負債合計	3,293,908	2,816,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	802,886	775,909
自己株式	△85,773	△86,019
株主資本合計	2,501,596	2,474,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,810	4,906
その他の包括利益累計額合計	3,810	4,906
純資産合計	2,505,406	2,479,279
負債純資産合計	5,799,314	5,295,831

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,134,261	1,192,208
売上原価	277,505	278,291
売上総利益	856,756	913,917
販売費及び一般管理費	684,185	746,649
営業利益	172,570	167,267
営業外収益		
受取利息	4,578	1,979
受取配当金	172	52
雑収入	638	623
営業外収益合計	5,389	2,656
営業外費用		
支払利息	12	12
障害者雇用納付金	480	640
雑損失	247	867
営業外費用合計	740	1,519
経常利益	177,220	168,403
特別損失		
固定資産除却損	38	24
特別損失合計	38	24
税金等調整前四半期純利益	177,181	168,379
法人税、住民税及び事業税	48,737	30,686
法人税等調整額	△12,500	46,700
法人税等合計	36,237	77,386
少数株主損益調整前四半期純利益	140,943	90,992
四半期純利益	140,943	90,992

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	140,943	90,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,384	1,096
その他の包括利益合計	△3,384	1,096
四半期包括利益	137,559	92,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,559	92,088
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	177,181	168,379
減価償却費	9,897	10,287
のれん償却額	7,010	7,877
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	294
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,377	△107,407
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,194	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	13,536
受取利息及び受取配当金	△4,751	△2,032
支払利息	12	12
固定資産除却損	38	24
売上債権の増減額(△は増加)	113,260	410,565
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,291	△946
仕入債務の増減額(△は減少)	22,182	△21,369
未払又は未収消費税等の増減額	7,084	△427
前受収益の増減額(△は減少)	△27,416	12,602
長期前受収益の増減額(△は減少)	79,433	△2,912
その他	66,754	4,095
小計	414,263	492,856
利息及び配当金の受取額	4,524	2,779
利息の支払額	△12	△12
移転費用の支払額	△7,955	-
法人税等の支払額	△89,995	△181,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,822	314,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△159,000	△204,600
定期預金の払戻による収入	150,000	164,400
有価証券の取得による支出	△58	△243,999
有形固定資産の取得による支出	△5,902	△4,598
無形固定資産の取得による支出	△6,881	△5,188
投資有価証券の取得による支出	△1,751	-
投資有価証券の売却による収入	-	243,927
のれんの取得による支出	△52,000	-
関係会社貸付けによる支出	-	△10,207
敷金及び保証金の差入による支出	△1,925	△84
敷金及び保証金の回収による収入	97	178
保険積立金の積立による支出	△52	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,475	△60,225
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△242	△242
自己株式の取得による支出	-	△246
配当金の支払額	△36,204	△113,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,447	△113,610
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	206,900	140,343
現金及び現金同等物の期首残高	985,811	1,425,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,192,711	1,565,543

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	863,983	270,277	1,134,261	—	1,134,261
セグメント間の内部 売上高又は振替高	900	—	900	△900	—
計	864,883	270,277	1,135,161	△900	1,134,261
セグメント利益	118,515	59,332	177,848	△5,277	172,570

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設関連事業」セグメントにおいて、事業譲受によるのれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、52,000千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	850,250	341,957	1,192,208	—	1,192,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,697	—	3,697	△3,697	—
計	853,947	341,957	1,195,905	△3,697	1,192,208
セグメント利益	82,188	90,356	172,544	△5,277	167,267

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。